

スマイル Cafe 見学レポート

介護付有料老人ホーム「ソナーレ祖師ヶ谷大蔵」を見学させていただきました



2016年3月16日、世田谷区祖師ヶ谷にある介護付老人ホーム「ソナーレ祖師ヶ谷大蔵」を見学させていただきました。

4月のオープンに向けて入居相談やスタッフのトレーニングなどで忙しい時期にも関わらず、ハード面ソフト面それぞれのこだわりポイントなどお話しして下さいました。

写真：施設外観

基準を超える手厚い人員配置や一人ひとりに配慮した食事、身体の状態に合わせた設計などそれぞれの良さが感じられましたが、とくに印象深かったのは「スリープマネジメント」と「ライフマネージャー」でした。

眠りの質を高める「スリープマネジメント」

人は一日の1/3、つまり人生の1/3の時間眠るわけですから、そのクオリティはとても重要。とくに高齢になると不眠に悩まされることも多くなり、起き上がることが難しくなるとベッドの上で過ごす時間も長くなります。

睡眠の質が低下しがちな高齢期だからこそ——ということで、こちらの施設では「スリープマネジメント」に取り組んでいるそうです。



写真：フェルカー社製介護ベッド

体圧を計測し、身体状況に応じてカスタマイズ可能なマットレスや、血流を促したりする機能に優れたドイツ製の高性能介護ベッドは全室に配置。また、夜間にまとまった睡眠をとるために、日中の時間の使い方も工夫されている点も印象的でした。

じぶんらしい生活を実現するための「ライフマネージャー」

一人ひとりに合わせたケアプランを作る「ケアマネージャー」と対になる役割として「ライフマネージャー」が存在するのもこちらの施設の特徴の1つ。

介護や支援が必要な状態になってから入居を考える人が多いなか、入居後の時間は決して終末期ではなく、“やりたいことをやりましょう”という姿勢で受け入れられるのは、本人とっても家族にとっても嬉しいでしょう。



ライフマネージャー：山田悟さん

“もう一度あの場所へ”という目標に向けて、日々のリハビリメニューを考案することもあるそう。未来に向けてのライフプランは、今日の活力にもなるような気がします。

おひとりさまにとって家族のような存在

ライフマネージャーは“家族のように”話を聞きき、相談に乗ってくれるので、とくに子どもなど近い家族がいなかったり、いても遠方に暮らしていたりするおひとりさまには、かけがえのない存在となりそうです。家族のような存在になれるよう、入居者一人ひとりの“これまで”と“これから”についてたくさんお伺いしたい、と話していたライフマネージャーの山田さんでした。